

あかぎの響通信

NO. 18

平成25年3月

発行:社会福祉法人 あかぎの響

〒371-0115 群馬県前橋市富士見町小沢117-6

TEL:027-288-1867 FAX:027-288-1967

e-mail : akagi-no-hibiki@a-hibiki-a06.lunch-box.jp

HP : <http://www.a-hibiki-a06.lunch-box.jp/>



障害福祉サービス事業所 なかま
つゆ草クラブ
第2つゆ草クラブ
サービスステーションつゆくさ
ヘルパーステーションつゆくさ

～ボーリング～

前橋市社会福祉協議会より頂いた歳末たすけあい配分金で12月27日・28日の冬休み期間中につゆ草クラブ・第2つゆ草クラブは、社会体験として、前橋市国領町のエメラルドボウルにボーリングに行ってきました。

初めての体験に子どもたちも指導員も緊張していましたが、靴を履き替え、自分のボールを選ぶと早速レーンに立ち、重いボールが転がし、ピンが倒れると大歓声をあげていました。ストライク、スペアがとれるごとにみんなで盛り上がり、無事2ゲームを終了しました。

場所に関係なく騒いでしまったり、ボールがピンに届かないなどでボーリング場の係の人にはご迷惑をおかけしてしまいましたが、快く対応して頂いたことに大変感謝申し上げます。またみんなで出掛けて行きたいと思っております。(つゆくさ 涌澤)



「それ～行け～！！」



「ボールの行方はどうかなあ～??」

～クリスマスコンサート～



平成24年12月15日にクリスマスコンサートを富士見公民館で開催しました。今回は音楽を通して社会貢献しているNPO法人ミュージックフォーチルドレン様をゲストとしてお招きしました。

当日はつゆくさやなかまの関係者を含めて100名程の方々が集まりました。沢山の人が集まった中で利用者さんが音楽療法で一生懸命練習した2曲を、鈴木先生に指揮して頂き披露することになりました。まず、生活介護の利用者さんはペットボトルのマラカスを使用して「ジングルベル」を演奏し、ミュージックフォーチルドレン様が合わせて下さりました。就労継続支援B型の利用者さんは「ふるさと」をハンドベルで演奏しました。練習した成果が出て、利用者さんの顔は達成感に溢れており、輝いていました。

その後、ゲストの方々が、クリスマスに馴染みのある曲をフルートやピアノで演奏してくださり、それらは会場内を包み込むような温かみのある音色で来場者一人一人が聞き入り、アンコールのリクエストがありました。最後に利用者さんからゲストの方々に花束を贈りました。楽しい時間を過ごせただけでなく、利用者さんが積極的に参加することが出来、記憶に残るようなクリスマスコンサートを開催できた事に皆様に感謝致します。(なかま 佐藤)



「マラカス鳴らしてジングルベル♪」



「フルート演奏♪」

クリスマスコンサートでは、音楽に合わせて身体を揺らし、ノリノリで聞いている利用者の方々が印象的でした。

また音楽療法で練習された曲を緊張の面持ちで発表された利用者の方々の皆さんお疲れ様でした！！



～新年会～

平成25年1月4日に前橋のイタリアンレストラン「チニョ」にて新年集会及び成人の祝いを行いました。お店の人から分かりやすくテーブルマナーを教わりながら美味しいイタリア料理を頂きました。お洒落な格好をして普段の環境と違い、慣れないナイフ・フォークを使って悪戦苦闘しながらもコース料理を楽しみました。「美味しいね」と口々に言っているのを皆さんから聞くことが出来てよかったです。

成人の祝いでは、食後に成人対象の方が抱負を述べて、みんなから祝福されてとても喜んでいました。また、このような企画を立てていきたいと思っております。(なかま 丑木)



「料理楽しみだなあ～♪」



「ナイフとフォーク使えたよお！！」

～研修(個別支援計画)～

平成24年11月20日(火)今年度2回目の職員研修を実施しました。日頃から職員の要望があった「個別支援計画について」という内容で、社会福祉法人桑の実福社会くわのみ施設長、中塚美子様を講師としてお迎えしました。

他施設の貴重なお話を伺えたのと同時に、職員が日々の支援で抱えている悩みや疑問に対して、日中活動支援部会長でもいらっしゃる中塚さんの豊富な体験と幅広い知識で丁寧に答えて下さり大変勉強になりました。

なかま事業は、開所当時から個別支援計画の作成について試行錯誤しながらも、サービスの質の向上に繋がる様に心掛けてきました。しかし、まだまだ施設としての方向性が定まらない点があるという現状や、ツールとしての活用不足といった問題等が数多くあります。私も含めこの研修が、それぞれの職員の支援に対する意識改革のきっかけになれば嬉しく思います。

平成25年4月1日より地域社会における共生の実現に向けて新たに「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」が施行されます。「意思決定の支援」という言葉がはっきりと法律に明記されるようになります。私達支援員は、この意味の重要性を考え努力し続けなければなりません。

今後も、研修委員として職員の要望や、障がい者福祉の動向に添った勉強会を実施していきたいと考えています。

(なかま 坂木)



～研修(接遇)～

平成25年1月19日(土)の午前中、(有)イマージュの久保田桂子様、皆川さゆり様を講師にお招きし、接遇について研修会を行いました。あかぎの響職員となかまの利用者さんも一緒に研修に参加し、挨拶や表情の作り方を中心とした内容を学びました。特に印象に残った内容としては、人の心を開く6つの法則では、1. 笑顔で接する 2. 名前を覚える 3. 相手の関心を知る 4. 相手の関心を話題にする 5. 相手の話を聴く 6. 誉める は良い人間関係を築くための指針になると思いました。また、明日を創る言葉(きっとできる・もっとやれる・時間は創れる・元気だ・楽しいなア・など)を声に出して毎日を明るく過ごしましょうということで研修が終了しました。2時間という短い時間の中で実りのある研修となりました。

(なかま 阿久澤)



「笑顔の練習です!!」



「声に出して言ってみましょう!!」

～リフト納車～

つゆ草クラブでは、平成25年2月26日に社団法人日本財団様より助成を頂き、老朽化を迎える車両に変わる新しい福祉車両を配備させていただきました心より感謝しております。

平成12年に日本財団からいただいたリフト付ワゴン車は、日々の支援で利用し、老朽化を迎えて今後は「中古福祉車両海外寄贈プロジェクト」として、救急医療体制の整っていないミャンマーの救急車両の整備・拡充のために再び活用される予定となっています。

新車両になっても様々な活動に利用させていただき、利用している方の活動の更なる充実につなげていきたいと思っております。



(つゆくさ 酒井)

～ふれんどハウス・あかぎ相談支援事業所建設について～



皆さまにご迷惑をおかけしていましたが工事も終わり、サービスステーション前に障がい児・者を対象とした相談支援事業所「あかぎ相談支援事業所」の建物が完成いたしました。

また、第2つゆ草クラブ前にもケアホーム「ふれんどハウス」が完成し、4月1日開所に向けて着々と準備をすすめております。

～ご寄付～

前橋市社会福祉協議会様・なかま家族会様・ジャパンカインドネス協会様・日本財団様

渡邊次郎様 * 将来の施設建設資金として、多額の寄付金をいただきました。

ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

～編集後記～

私事ではありますが、『あかぎの響通信』編集に携わるようになって早くも2年が経とうとしています。始めは右も左も分からず、やっとの思いで作っていたこの通信も、回を重ねるごとに自分の思いも増し、たくさんの方に読んでいただけるように努めてまいりました。編集委員最後のこの18号も編集を楽しみながら発行出来るまでに至ったこと、とても嬉しく思っております。この楽しさを伝えられるように次の編集委員の方にバトンタッチしていきたいと思っております。

また、4月からあかぎ相談支援事業所、ふれんどハウスが新しく開所いたします。幼児期、学童期、青年期とライフステージが変化するなかで、さまざまな年代に合わせ、幅広いサービスを提供できるように努めていきたいと思っております。



(つゆくさ 下田)